

<ちよこっとコラム⑱>

(キリスト教を由来とする慣習 その②)

「母の日」 *Mother's Day*

5月の第二日曜日は、母に感謝する日として覚えられており、多くのプロテスタント教会では、この日に「母の日礼拝」が行われます。由来は、アメリカのメソジスト教会に属する女性の社会活動家アン・ジャーヴィスの提唱でした。彼女が亡くなって3年たった1908年5月10日、娘アンナが、母親を偲んで教会で記念会を開き、出席者に母が大好きだった白いカーネーションを配ったのが始まりとされています。この花は母親の愛の美しさ、純粋さ、忍耐強さを象徴しているとされ、母の日のシンボルとなりました。その時以来、健在である母には赤色、亡くなった母には白色のカーネーションを送ることが慣習とされています。